

はじめに

令和2年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」では、力強く持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保のため、「若い人に農業の魅力を伝え、将来的に農業を職業として選択する人材を育成するため、農業高校・農業大学校等の農業教育機関において、先進的な農業経営者等による出前授業、現場での実習、農業生産工程管理（GAP）に関する教育、企業や他の教育機関、研究機関等と連携したスマート農業技術研修等、実践的・発展的な教育内容の充実やそのための施設・設備等の整備を進める。また、地域農業のリーダーとして活躍し、経営感覚や国際感覚を持つ農業経営者を育成するため、産業界や海外と連携した研修・教育や、農業大学校等の専門職大学化などの農業教育機関の高度化を推進する。さらに、就職氷河期世代をはじめとした幅広い世代の就農希望者に対する実践的なリカレント教育を推進する」とされています。

さらに、令和3年12月に改訂された「農林水産業・地域の活力創造プラン」では、技術対応力・人材創出を強化するために「全ての農業大学校・農業高校等において、スマート農林水産業のカリキュラム化を進めるとともに、スマート農業機械・設備の導入等により実践的な教育体制を整備すること」や、農政新時代に必要な人材力を強化するシステムを整備するために

「農業大学校の実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関への転換、農業高校と農業大学校等との連携促進（高大連携）等による農業教育の充実・強化を図る」、「農林水産物・食品のマーケティングやプロモーション、輸出に係る手続等の知識やノウハウを有する人材を育成・研修、農業高校等をはじめとした農業教育システムの中で、輸出力強化について学ぶ機会の充実等を推進する」とされています。

また、令和3年5月に決定された、「みどりの食料システム戦略」では、労働安全性・労働生産性の向上と生産者のすそ野の拡大として、「農業大学校、農業高校等の学生・生徒や幅広い世代の就農希望者等に対し、生産性向上、労働安全、環境に配慮した農林水産業などの教育を推進する」とされています。

このような中で、農業高校等においては次世代を担う経営力のある多様な担い手の育成を図ることが求められており、農業高校生の就農・就業に向けた農林水産施策の情報提供や先進的な経営の学習など、実践的な職業教育を充実させた人材育成機能を強化していくことが重要です。

これらを踏まえ、関東農政局栃木県拠点では、栃木県、栃木県高等学校教育研究会農業部会及び栃木県学校農業クラブ連盟等の御協力をいただきつつ、栃木県内に所在する宇都宮白楊高校、鹿沼南高校、小山北桜高校、栃木農業高校、真岡北陵高校、那須拓陽高校、矢板高校、馬頭高校と連携し、職業としての農業を身近に感じてもらう取り組みや就農意欲を喚起する取り組み等を推進しています。

本冊子は、地域と連携した実践的な学習により豊かな人間性と基礎的な知識・技術を習得し、次世代の担い手として、個々の進路実現に果敢にチャレンジしている栃木県内の農業関係高校生等の取り組みを中心に紹介しています。

本冊子が、農業関係者をはじめ消費者や流通・加工業者、小売業者、教育関係者、また、中学生など幅広い方々の目に触れ、農業関係高校の取り組みへの理解が深められ、更には、一人でも多くの若者が意欲を持って農業を学び新規就農の契機となれば幸いです。

最後に、本冊子の作成に当たり、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、多大な御協力を賜りました関係者の皆様方に、心より感謝申し上げます。

令和4年3月

農林水産省 関東農政局栃木県拠点

目 次

CONTENTS

1	栃木県の農業の概要	1
2	栃木県内の農業関係高校等の所在図・学科名（定員）	2
3	栃木県内の農業関係高校等の概要	3
4	栃木県内の農業関係高校の紹介（学科別）	
(1)	栃木県立宇都宮白楊高等学校	
·	農業経営科	5
·	生物工学科	6
·	食品科学科	7
·	農業工学科	8
(2)	栃木県立鹿沼南高等学校	
·	食料生産科	9
·	環境緑地科	10
(3)	栃木県立小山北桜高等学校	
·	食料環境科	11
(4)	栃木県立栃木農業高等学校	
·	植物科学科	12
·	動物科学科	13
·	食品科学科	14
·	環境デザイン科	15
(5)	栃木県立真岡北陵高等学校	
·	生物生産科	16
·	農業機械科	17
·	食品科学科	18
(6)	栃木県立那須拓陽高等学校	
·	農業経営科	19
·	生物工学科	20
·	食品化学科	21
(7)	栃木県立矢板高等学校	
·	農業経営科	22

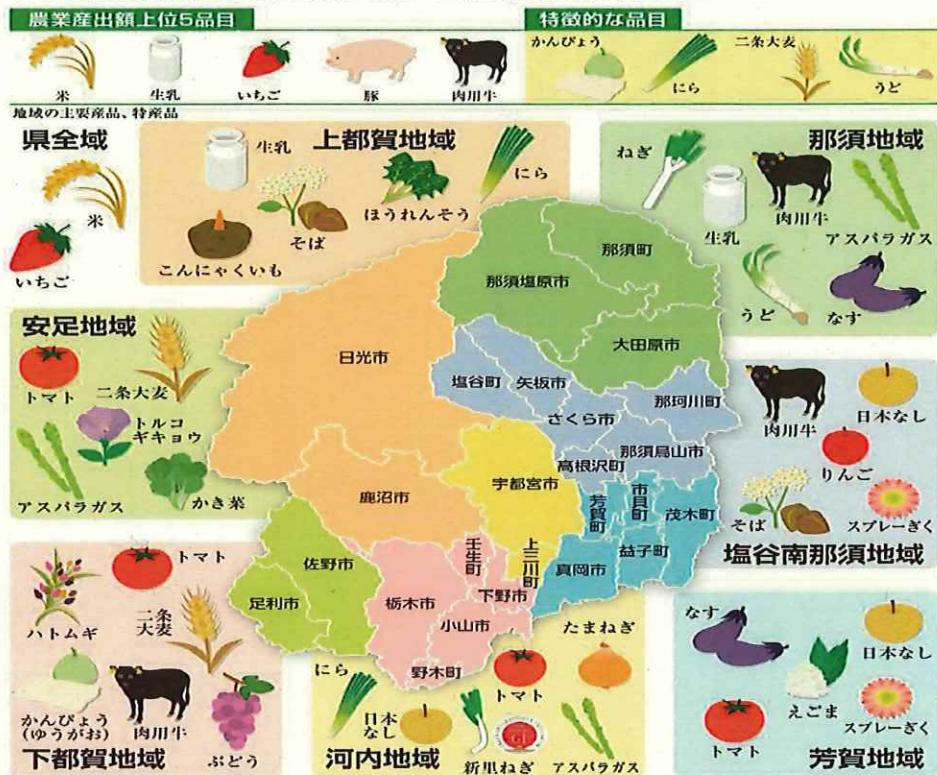
5	栃木県立馬頭高等学校の紹介	23
6	栃木県農業大学校の紹介	24
7	農高生によるGAPチャレンジ	26
8	日本学校農業クラブ連盟（FFJ）の活動	27
9	各高校に導入された新しい農業用機械の紹介	28
10	関東農政局栃木県拠点の取材日誌	32
11	参考資料（関東農政局管内新規就農者の状況）	35



栃木県の農業の概要

栃木県

は、関東地方の北部に位置し、日光連山や那須連山、八溝山系などの山岳地帯を抱える一方、南部には関東平野が広がり那珂（なか）川、鬼怒（きぬ）川、渡良瀬（わたらせ）川が流れ、水資源に恵まれています。農業は、肥沃な土壤と豊かな水、穏やかな気候に恵まれ、米麦、畜産、園芸作物など多彩な農畜産物の生産が行われています。県では、県産農産物のブランド力向上に向けて、多彩な品種を有するいちご、丹精を込めて育て上げた「とちぎ和牛」、令和の大嘗祭に供納された米「とちぎの星」等を中心に、生産・販売・PR活動に取り組んでいます。



関東農政局「2021年度関東農業マップ」より

主な農畜産物の産出額の全国順位（令和2年）

全国順位	農業産出額	米	麦類	野菜	果実	花き	肉用牛	生乳	豚	鶏卵
構成比（全国）	18.5%	0.6%	25.1%	9.8%	3.4%	7.7%	8.7%	7.4%	5.1%	
構成比（栃木）	23.0%	1.5%	26.3%	2.5%	2.1%	7.4%	13.7%	11.2%	7.2%	

1位	北海道	新潟	北海道	北海道	青森	愛知	鹿児島	北海道	鹿児島	茨城
2位	鹿児島	北海道	栃木	茨城	長野	千葉	北海道	栃木	宮崎	千葉
3位	茨城	秋田	福岡	千葉	和歌山	福岡	宮崎	熊本	北海道	鹿児島
4位	千葉	山形	佐賀	熊本	山形	静岡	熊本	岩手	群馬	広島
5位	熊本	宮城	群馬	愛知	山梨	埼玉	岩手	千葉	岡山	
6位	宮崎	福島	埼玉	群馬	愛媛	茨城	宮城	群馬	茨城	栃木
7位	青森	茨城	愛知	長野	熊本	長野	長崎	茨城	栃木	愛知
8位	愛知	栃木	岡山	埼玉	福島	北海道	栃木	愛知	岩手	新潟
9位	栃木	千葉	熊本	青森	岡山	鹿児島	沖縄	岡山	愛知	青森
10位	岩手	岩手	三重	栃木	静岡	熊本	兵庫	宮城	熊本	北海道
					28位 栃木	16位 栃木				

農林水産省統計部「令和2年生産農業所得統計」より

栃木県内の農業関係高校等の所在図・学科名（定員）



地図上の記号	学校名	令和4年度 【学部】 学科名（定員）
①	宇都宮白楊高校	農業経営科・生物工学科・食品科学科・農業工学科（各40名）
②	鹿沼南高校	食料生産科・環境緑地科（各40名）
③	小山北桜高校	食料環境科（40名）
④	栃木農業高校	植物科学科・動物科学科・食品科学科・環境デザイン科（各40名）
⑤	真岡北陵高校	生物生産科・農業機械科・食品科学科（各40名）
⑥	那須拓陽高校	農業経営科・生物工学科・食品化学科（各40名）
⑦	矢板高校	農業経営科（40名）
◇	馬頭高校	普通科（80名）・水産科（25名）
▲	栃木県農業大学校	【農業生産学部】農業総合学科（55名）・畜産学科（15名） 【農業経営学部】いちご学科（10名）

栃木県内の農業関係高校等の概要

令和3年度学校基本統計「学校基本調査報告書（令和4年1月 栃木県）」より

- 高等学校数は、75校（公立61校、私立14校）です。
- 生徒数は、49,674人（男子25,566人（51%）、女子24,108人（49%））です。
- 学科別生徒数内訳

(1) 普通科	32,303人	(65.0%)
(2) 工業科	5,153人	(10.4%)
(3) 商業科	4,341人	(8.7%)
(4) 総合学科	3,259人	(6.6%)
(5) 農業科	2,108人	(4.2%)
(6) 家庭科	1,713人	(3.4%)
(7) 福祉科	242人	(0.5%)
(8) 水産科	58人	(0.1%)
(9) その他	497人	(1.0%)
(10) 合計	49,674人	(100.0%)

○令和3年度の生徒数49,674人は、前年度より1,071人（男子485人・女子586人）減少しました。
○生徒数が最も多かったのは、平成2（1990）年度で97,731人です。



- 令和2年の農業産出額上位10道県との比較は以下のとおりです。

（各道県公表の「令和2年学校基本調査報告書」より）

道県名	産出額 (億円)	全高校生 (A)	うち農業高校 生徒数 (B)	割合 (B/A)	農業高校 (学校数)
北海道	12,667	119,773人	3,532人	2.9%	23
鹿児島	4,772	43,928人	1,268人	2.9%	10
茨城	4,417	74,121人	1,528人	2.1%	5
千葉	3,853	145,920人	2,612人	1.8%	11
熊本	3,407	45,401人	2,588人	5.7%	11
宮崎	3,348	29,590人	1,593人	5.4%	6
青森	3,262	32,115人	1,659人	5.2%	6
愛知	2,893	190,309人	3,290人	1.7%	8
栃木	2,875	50,745人	2,185人	4.3%	7
岩手	2,741	31,229人	1,262人	4.0%	6

全国の状況

（「令和3年度学校基本調査（確定値）」（令和3年12月22日）文部科学省より）

- 高等学校数は、4,856校（国立15校、公立3,521校、私立1,320校）で、前年度より公立高校が16校、私立高校が2校減少しました。
このうち、農業科のある学校は301校（全日制282校、定時制11校、全定併設8校）で、前年度より2校減少しました。
- 高等学校の生徒数は、3,008,172人（男子1,520,519人（51%）、女子1,487,653人（49%））で、前年度より83,892人（男子42,464人、女子41,428人）減少しました。
- 学科別の生徒数は以下のとおりです。

学科	生徒数	割合	減少率	学科	生徒数	割合	減少率
普通科	2,198,699	73.3%	2.5%	看護科	13,226	0.4%	2.6%
工業科	220,357	7.3%	4.8%	水産科	7,804	0.3%	4.6%
商業科	171,088	5.7%	4.1%	福祉科	7,744	0.3%	3.7%
総合学科	163,539	5.5%	2.8%	情報科	2,664	0.1%	0.6%
農業科	72,566	2.4%	3.7%	その他	105,365	3.5%	1.6%
家庭科	35,878	1.2%	2.2%	合計	2,998,930		2.8%

5. 栃木県における農業関係高校の区分と学科別学習内容

(1) 農業関係高校の区分

- ① **総合選択制高校（職業系専門学科と普通科を併置）：鹿沼南高校**
生徒は、関心や進路に応じて、2・3年生で普通系の科目を選択履修することも可能です。
- ② **総合産業高校：小山北桜高校**
1年生は、全ての学科の基礎科目を学習し、産業全体について学びます。
2、3年生では、自分の学科以外の科目を一部選択して学習することができます。
- ③ **総合選択制専門高校：宇都宮白楊高校 真岡北陵高校 矢板高校**
生徒は、関心や進路に応じて、2、3年生で自分の学科以外の科目を選択して学習することができます。
- ④ **職業系専門高校：栃木農業高校**
農業科の4学科より構成されており、各学科の中で、それぞれの専門分野を深く学習することができます。
- ⑤ **普通科・職業系専門学科の併置校：那須拓陽高校**
普通科と農業科、家庭科より構成されています。
専門学科の中では、専門分野を深く学習することができます。

(2) 学科別学習内容

学科名	学習内容
農業経営科（宇都宮白楊）	新しい時代に対応した作物、草花、野菜、果樹、畜産などに関する専門的な知識と技術を学びます。
食料生産科（鹿沼南）	※食料生産科には草花の学習、植物科学科には畜産の学習は含まれません。
生物生産科（真岡北陵）	
植物科学科（栃木農業）	
食料環境科（小山北桜）	作物・野菜・果樹の栽培方法を学ぶ食料生産コースと、草花の栽培方法や造園・ガーデニングを学ぶ環境創生コースに分かれ、食料生産と環境づくりに関する知識と技術を学びます。
動物科学科（栃木農業）	生産物を得るための動物を学ぶ生産動物コースと、人の生活に貢献する社会動物を学ぶ社会動物コースに分かれ、動物の飼育やその利用に関する知識と技術を学びます。
生物工学科（宇都宮白楊）	植物バイオテクノロジー・動物バイオテクノロジーや微生物の利用及び養液栽培等の施設栽培などに関する知識と技術を学びます。
農業工学科（宇都宮白楊）	道路や橋などの土木構造物の設計や施工及び水や土の基本的性質など環境保全に配慮した農業土木工事などに関する知識と技術を学びます。
環境緑地科（鹿沼南）	草花の栽培や装飾、造園やガーデニング、森林環境の保全やキノコの栽培方法などに関する知識と技術を学びます。
環境デザイン科（栃木農業）	地域の自然や産業を取り巻く環境を維持・改善するためには、環境や農業土木に関する知識と技術を学びます。
食品化学科（那須拓陽）	食品の特性と加工・貯蔵・流通に加え、食品の成分分析や衛生検査の方法及び食品に関連する微生物の利用と培養などに関する知識と技術を学びます。
食品科学科（白楊／栃農／真岡北陵）	
農業機械科（真岡北陵）	各種農業機械の取扱い方法を学ぶと共に、エンジンをはじめ機械各部の構造と整備方法などに関する知識と技術を学びます。